

新たな中学校の 開校に向けて



令和5年 12月 No.9

増穂中学校と鯉沢中学校の 交流レポート

中学校の統合まで、あと1年と4カ月となりました。

現在、新中学校開校検討委員会では、新たな中学校のスタートに向けて、新校舎や制服・体操服などの検討を行い、準備を進めています。

また、両校の生徒たちがお互いの顔を知り、仲間意識を深めることを目的として、交流事業を行っています。

今月はその一環である、10月13日(金)に開催された音楽鑑賞会について、お伝えします。



両校生徒約360名が招待され開催されたコンサート。奏者はウィーン国立歌劇場管弦楽団などに所属し、世界で活躍されている5名です。超一流の演奏を生で聴くという、大変貴重で感動的な体験となりました。

知っていますか? DVのこと

富士川町
男女共同参画推進委員会

③ 性行為を強要する、中絶を強要する、避妊に協力しないなど

④ 生活費を渡さない、仕事を辞めさせるなど

⑤ 交友関係を制限する、電話や手紙をチェックする、仕事中に頻繁に電話するなど

内閣府の調査によると、DVの相談内容の約6割は、精神的暴力です。また、配偶者からの暴力の相談経験のある人の4割は、「相談するほどのことではない」「自分にも悪いところがある」「自分さえ我慢すればいい」などという理由から、どこにも相談していないということでした。

そして、DVの被害者には、共通してみられる心理状態があり、暴力を受けていても逃げられないケースが多くあります。

理由は、被害者の「逃げたら殺されるかもしれない」という強い恐怖から。暴力を振るわれ続けることにより、「自分は夫から離れることができない」「助けてくれる人は誰もいない」といった無気力状態から、「暴力を振るうのは私のことを愛しているからだ」とい

つか変わってくれるのではないかとこの思いから。夫の収入がなければ生活することが困難といった不安から。子どもの安全や就学の問題などが気にかかるから。夫から逃げる場合、仕事を辞めなければならず、これまで築いた地域社会での人間関係など失うものが大きいから。

しかし、暴力は、いかなる理由であっても、どんな間柄であつても、許される行為ではありません。被害者は、自分自身や子どもを守るために、また、DVに悩んでいる方から相談を受けた方も、まずは身近な窓口に相談してください。

●DV相談ナビ(短縮ダイヤル)
☎#8008(はれれば)

●DV相談プラス
☎0120-279-889

●性犯罪・性暴力被害者のための
ワンストップ支援センター(短縮ダイヤル)
☎#8891(はやくワンストップ)